

## 平成18年度(第58回)長崎県高等学校総合体育大会

1 期日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日
2 場所	長崎市	県立総合体育館	他	
3 結果	第3位			
2回戦	対 大村 <b>91</b>	(26-4) (19-13) (25-9) (21-9)		<b>35</b>
3回戦	対 長崎北 <b>69</b>	(11-11) (14-13) (21-11) (23-11)		<b>46</b>
4回戦	対 長崎南 <b>103</b>	(26-4) (19-13) (25-9) (21-9)		<b>49</b>
決勝リーグ1	対 長崎東 <b>88</b>	(25-11) (16-14) (17-17) (30-21)		<b>63</b>
決勝リーグ2	対 長崎日大 <b>69</b>	(17-15) (13-20) (17-27) (21-17)		<b>78</b>
決勝リーグ3	対 海星 <b>71</b>	(12-19) (13-12) (28-28) (18-14)		<b>73</b>

優勝	海星	優勝	長崎西
第2位	長崎日大	第3位	純心女子
第3位	長崎西	第4位	長崎商業
第4位	長崎東	第5位	長崎女子

2回戦

対 大村

県高総体の初戦は緊張します。この試合の出来がこの大会の鍵を握ります。ディフェンスは、失点から見て合格です。しかし、オフェンスに問題点があると感じました。それは、フィニシュ(=シュート決定力)です。これが後々もあらわれます。

3回戦

対 長崎北

長崎北とは、今シーズン3回目の対戦です。お互い手の内はわかっていますし、どちらがペースを握るかです。前半は長崎北のペースでしたが、3Qにプレスを仕掛け主導権を握りました。この試合は、県高総体の鍵を握る試合でしたので、選手は落ちつきを見せています。

4回戦

対 長崎南

春季大会の後、練習試合していましたので、高さの差を活かした攻防をくり返せば、何とかなる試合です。吉田、和田の2メンプレイなど控えの選手の活躍によりいい形で決勝リーグを迎えました。

決勝リーグ

対 長崎東

今シーズン初の対戦です。高さに絶対的な差がありますので、インサイドを固めてリバウンドをキープすることを確認し試合にのぞみました。ゾーンディフェンスに対してもゴール下の攻防で、土屋、平木、富永踏ん張りました。まずは1勝です。

決勝リーグ

対 長崎日大

予想とは裏腹に、長崎日大との対戦です。長崎日大の疲労度見て一気に責め立てることを指示しました。出だしは良かったのですが、ゾーンオフェンスの攻めがしっくりといきません。外角シュート決定力の不足がこの試合の勝負を決めました。最後は追いつけるものの11点差という微妙な点差での敗退でした。

決勝リーグ

対 海星

優勝の条件は、20点差以上の勝利しかありません。今大会のスタートも変えました。何が何でもIHの切符を狙いました。しかし、海星の川上君を中心とした攻撃を守れず西高らしさの粘りは見せるものの敗退です。

今年のチームの弱点である得点力(エース)不足が、今大会の結果です。ディフェンスを頑張るしかし、得点がとれない次第に体力、集中力が落ち、ディフェンスも悪くなるという状態です。チーム作りの段階で外のエース、中のエースを作らなければ勝てません。また、バスケットボール(=部活動)を楽しむこと(難しい表現ですが)を忘れたことも事実です。また、一から出直しです。応援ありがとうございました。